

# 関目の目

12月21日（金）に関目商店街で関目商店街活性化事業「一人でできるもん！～クリスマスのおつかい大作戦～」が行われ、合計47名の子どもたちが参加してくれました。



この企画は保護者のかたが子供に買って来てほしい商品を頼み、その商品を一人でおつかいに行くことで、子供たちの成長、また関目商店街の活性化につなげようという企画です。企画当日は、とても寒くほんとうに子供たちがおつかいに来てくれるか不安でしたが、開始時間10分前にもかかわらず参加者の子が姉妹で来てくれほっとしました。時間がたつにつれ、参加者の子供はどんどん増えていきました。

子供たちは500円を握りしめ、「おつかい来たー！」と元気よくやって来てくれ、受付で待っている時も早くおつかいに行きたいのか落ち着かない様子で、頼まれた商品の書いた紙を受け取るやいなや「行ってくる！」と走っていく子が多く、警備担当の僕たちもそれについていくのが大変でした。子供たちの若さを感じたとともに、私たちも年をとったなと痛感した瞬間でもありました。



その様子を僕たちは安全のため遠くから見守っていると、まるでその子の親になったようでした。しかしなかには「サンタのストーカーやー！！」と女の子2人組に笑いながら叩かれた時もありました。否定しましたがよく考えてみると、子供の後ろからサンタの格好で黙ってそーっとなついていく僕。これは子供から見るとストーカーと言われても仕方ありませんでした。

おつかいを終えた子供たちには今日の感想を詩にしてほしいと頼んだのですが、「詩ー？う～ん…。」とまるで小説家のように眉間にしわをよせ、苦戦した様子でした。

書き終えた子供たちには、おつかいのご褒美としてお菓子の詰め合わせと、私たちが手作りしたなめこのメダルをプレゼントしました。



# おつかい大賞☆

今回のおつかい企画に参加して下さった子どもたちに、『おつかいの感想』を書いていただきました。そして、その中からおつかいの感想金賞、銀賞、銅賞を決めさせていただきました。どれもユニークで面白いものばかりでした。それでは、発表します。

## 金賞

ここでおつかいをするのははじめて  
で、花やさんではサンタさんをサービスで  
くれました。  
らいねもおつかい大作せんがあつた  
つきはせたい  
500円おかし!

金賞 関目小学校3年1組 奥野晃史くん

## 銀賞

かんそう

わたしはらねおかしらから  
ートでおつかりに行った  
のでなれたけどこんなめに楽  
しめたのははじめてだ。  
またこんどやりたいたいと思っ  
た。

銀賞 関目東小学校3年2組 内藤百恵ちゃん

## 銅賞

『おつ買』をして、とても楽しかった。  
私はたこ焼きを買いました。  
焼き立てだったので、すごく  
いいにおいでした。  
買い終わった時、はやく  
家に帰ってたこ焼きを  
食べたかったです。  
私の妹と一しょに来ました。  
友達も一しょでした。

銅賞 関目小学校3年1組 松本陽菜ちゃん

今回の企画の感想や改善点などを  
関目小学校教頭先生、関目東小学校の  
校長先生からいただきました。

今回の企画は商店街の活性化という意味  
では直で物を買うという企画であったので  
貢献できたのではないかと。子どもたちにお  
つかいという良い経験をさせていただいた。  
今後はもっとたくさんの人が集まる企画を  
してほしい。(関目小学校教頭先生)

子どもは家庭、地域、学校で育てるもの  
で、現状として地域の繋がりが薄れてきて  
いる。なので、商店街という身近なところ  
から挨拶や声をかけてほしい。この  
ような企画はこれからも続けてほしい。  
(関目東小学校校長先生)

関目商店街の商売人の方々に貴重なお時間を割いていただき、関西大学学生が取材をさせていただきました。

今回は「萬田精肉店」さんの萬田富則さんと「駄菓子扇屋」さんの山田博子さんに、今回の「ひとりでできるもん！～おつかい大作戦～」についての感想をお聞きしました。

#### ◆肉の萬田 萬田富則さん

Q：今回のおつかい企画についてどう思われましたか？

「子ども達と話せて楽しい。子どもが友達と一緒に来ていて、話を盗み聞きしたら、最近の子たちのリアルな会話が聞けて楽しかった。」

子供達は、お店の人がコロッケを揚げている間に、おしゃべりを始めます。「家帰ったらな、今日はおばあちゃんも来てるからみんなでコロッケ食べるねん。」「俺な～、なめこめっちゃ好きでカードも集めてんねん。」「先生ってさ～むっちゃ怖いよな」などと様々な話題で盛り上がっていました。12月の冷たい風を体に受けながら、お店の人が揚げるあつあつのコロッケをうらやましそうに見つめ、寒さを忘れようと紛らわせるように会話を弾ませていました。

そして、お店の人からコロッケを受け取ると「おいしそ～！良い匂い、早く食べた～い！」と楽しそうにはしゃいでいました。

#### ◆駄菓子の扇屋 山田博子さん

Q：今回の企画についてどう思いますか？来年もこの企画をしたいですか？

「いつも子ども相手に商売をしているため、特に商売的な変化はないですね。ただ、初めて買いにくる子も結構いたのでその点は良かった。値段を決めて、その値段になるように自分で駄菓子を詰め合わせることは、子供がお金を計算する練習にもなって良かったと思う。」

この駄菓子の扇屋さんは、お子さんに人気のいろんな種類のおやつを売っています。この扇屋さんでは、子供達が自分で値段を計算しておやつを選び、最後にお店の人におやつを見てもらい、「答え合わせ」をしてもらいます。自分のチカラで計算しなければならず、普段学校で習っている算数を実践的に使う事ができます。算数が苦手な子も、だいすきなおやつの為なら一生懸命頑張ります。小さな頃からの扇屋さんでのお買い物によって、そろばん教室に通わなくても数学が得意になっちゃうかも？



最後に、関目商店街での活動にあたり、商店街の方々のご協力に心から感謝しております。今後とも関西大学深井ゼミ商売研究班をよろしくお願いいたします。

## 深井ゼミ 商売研究班メンバー



キャプテン

米留昇



新井里穂



高橋理恵



法心沙也香

連絡先：〒564-8680

大阪府吹田市山手町3-3-35 政策創造学部 深井ゼミ研究室気付  
06-6368-1176 (ダイヤルイン)

[shoubaiken.zemi@gmail.com](mailto:shoubaiken.zemi@gmail.com) (パソコンアドレス)